

令和6年9月12日
島根県健康福祉部薬事衛生課
担当：古割、宮本
電話：0852-22-6530

**島根県の子宮頸がん予防の取組に対する感謝状の贈呈のため、
一般社団法人シンクパールが知事を表敬訪問されます**

子宮頸がんの予防には、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種と検診が重要です。

島根県は、HPVワクチンの接種率（令和4年度）が、定期接種で全国2位（12.6%、全国8.4%）、キャッチアップ接種で全国1位（10.8%、全国6.1%）と、全国平均を上回る水準で進んでいます。

このたび、子宮頸がん検診の受診啓発とHPVワクチンの正しい知識の理解促進の活動に取り組んでおられる一般社団法人シンクパールが、島根県のHPVワクチンの接種推進の取組に対して、感謝状を贈呈するため、知事を表敬訪問されます。

1 日時

令和6年9月17日（火） 11：20～11：40

2 場所

島根県庁本庁舎 3階 301会議室

3 訪問者

一般社団法人シンクパール 代表理事 難波 美智代（なんば みちよ）さん ほか

4 内容

- (1) 知事へ感謝状の贈呈
- (2) 写真撮影

5 取材対応

取材可能です。ぜひ取材、報道いただきますようお願いします。

(参考)

○ 一般社団法人シンクパール（東京都千代田区）

- ・ 女性の健康教育と予防医療の推進を通じて、持続可能なウェルビーイングの実現と支援を目的に活動
- ・ 2009 年、難波代表理事自身が子宮頸がんを罹患。同年、一般社団法人シンクパールの前身となるNPO法人子宮頸がん啓発協会設立
- ・ 2013 年、一般社団法人シンクパール設立
- ・ 毎年 11 月 17 日、18 日に、子宮頸がん検診の受診啓発とHPVワクチンの正しい知識の理解促進を目的とした「Teal Blue Japan（ティール ブルー ジャパン）キャンペーン」を実施

○ ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン

- ・ 子宮頸がんは、HPVの感染が原因と考えられている。
- ・ HPVワクチンの接種により、HPVの感染の 50%～90%を防ぐことができる。
- ・ 平成 25 年 4 月、小学 6 年生から高校 1 年相当の女子を対象に定期接種が開始された。
- ・ 同年 6 月から、ワクチンとの因果関係が否定できない副反応などが報告されたことにより、国は積極的な接種勧奨を一時的に差し控えた（令和 4 年 4 月から、積極的な接種勧奨を再開）。

○ キャッチアップ接種

- ・ 積極的な接種勧奨が差し控えられていた間に定期接種の対象年齢であった平成 9 年度生まれ～平成 19 年度生まれ（誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2008 年 4 月 1 日）で、過去にHPVワクチンの接種を合計 3 回受けていない女性を対象に、令和 6 年度末まで、公費による接種可能
- ・ 公費による接種を完了するには、令和 6 年 9 月までに初回接種を受ける必要がある（接種は合計 3 回で、完了するまでに約 6 か月間かかる。）。